

平成 29 年 1 月 12 日

第 1 回定例会
議事録

文京区教育委員会

文京区教育委員会議事録

第 1 号

平成 29 年 第1回 定例会

日時：平成 29 年 1 月 12 日（木）午後 2 時

場所：教育委員会室

「出席」	教 育 長	南 新 平
	委 員	田 嶋 幸 三
	委 員	坪 井 節 子
	委 員	小 川 賀 代

「説明のために出席した教育局職員」	教育推進部長	久 住 智 治
	教育総務課長	山 崎 克 己
	学 務 課 長	竹 田 弘 一
	教育推進部副参事	川 西 宏 幸
	教育指導課長	植 村 洋 司
	児童青少年課長	矢 島 孝 幸
	教育センター所長	安 藤 彰 啓
	真砂中央図書館長	齋 藤 勝 美

「書記」	庶 務 係 長	木 内 実三男
------	---------	---------

平成29年

第1回教育委員会定例会

平成29年1月12日(木)午後2時

場 所 教育委員会室

議事録署名人 小川賀代委員

第1 報告事項

- (1) 叙勲等表彰受章(賞)者について (資料第1号)
- (2) 平成28年度第8回中学生「東京駅伝」大会の参加について (資料第2号)
- (3) 民間学童クラブ(都型学童クラブ)の開設について (資料第3号)
- (4) 平成28年度東京都「児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果について (資料第4号)

第2 その他の事項

「開 会」

○南教育長 それでは、本年第1回目の教育委員会定例会を始めさせていただきます。

(14:00)

○南教育長 出席状況から確認させていただきます。委員は、清水委員が欠席です。理事者は全員出席です。

「議事録署名人」

○南教育長 本日の議事録署名人ですが、小川委員にお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

(はい)

第1 報告事項

(1) 叙勲等表彰受章(賞)者について

○南教育長 それでは、議事日程に入らせていただきます。

第1、報告事項です。報告事項(1)「叙勲等表彰受章(賞)者について」です。説明をお願いいたします。

○教育総務課長 それでは、資料第1号に基づきまして、叙勲等の表彰受章(賞)者について、ご報告いたします。表の一番左側の事項の欄をご覧ください。平成28年度の叙位・叙勲受章者につきましては、記載の1名の方が受章いたしました。続きまして、2つの段は推薦者がなしということで該当なしでございます。

東京都功労者表彰受賞者につきましては、昨年9月の教育委員会において推薦者としてご報告した方が受賞されました。

東京都教育委員会表彰受賞者でございますが、こちらも同じく9月の教育委員会で10名の方を推薦したところでございますが、7名の方が表彰者として決定されたところでございます。

一番下の欄の文部科学大臣優秀教員表彰受賞者につきましては、その1つ上の東京都教育委員会表彰を受賞されたことがある中から表彰されるということで、今回2名の方が表彰されております。

ご報告は以上でございます。

○南教育長 ただいまの件につきまして、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

よろしいでしょうか。特にご質問等なければ、次に移ります。

(2) 平成28年度第8回中学生「東京駅伝」大会の参加について

○南教育長 報告事項(2)「平成28年度第8回中学生『東京駅伝』大会の参加について」です。説明をお願いいたします。

○教育指導課長 それでは、資料第2号によりまして、平成28年度第8回中学生「東京駅伝」大会の参加について、ご報告をいたします。資料をご覧ください。

本年度の開催予定につきましては、資料にお示ししたとおり、2月5日、日曜日でございます。女子が合計30キロを16区間16名、男子が42.195キロを17区間17名で走ります。

開催場所は、本年度も、味の素スタジアム、その周辺の都立武蔵野の森公園に特設の周回コースを設けまして、都内の中学2年生50チームが競います。

今年度から新たに、区市町村における前年度までの最高記録を更新した男子チーム、女子チームに特別賞が授与されることになりました。これを励みといたしまして、既に11月から、男子、女子チームとも選抜メンバー合同練習等に取り組んでいるところでございます。

5をご覧ください。本年度の参加校は、国立、私立を合わせ全部で13校です。文京区代表の特徴といたしまして、全公立中学校10校から参加をする上に、区内の国立、私立の生徒さんとともに練習し、文京区代表として出場する点が挙げられます。ぜひアピールしていきたいと思っております。

6、今後の予定をご覧ください。1月27日には、例年と同様に、地下2階の区民ひろばにおきまして、壮行会を開催いたします。本年度来賓としては、東洋大学陸上競技部長距離部門男子監督の酒井俊幸さんにご列席をいただきます。ご案内のとおり、酒井監督は今年の箱根駅伝第2位、これまでも3度東洋大学を箱根駅伝優勝に導いた監督さんでございます。15分程度の短い時間でございますが、生徒に激励の講話をしていただく予定でございます。

当日2月5日、日曜日でございますが、みんなで頑張ってもらいたいと思っております。

○南教育長 ただいまの件につきまして、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

これも特によろしいでしょうか。

(3) 民間学童クラブ(都型学童クラブ)の開設について

○南教育長 次の報告事項に移らせていただきます。報告事項(3)「民間学童クラブ(都型学童クラブ)の開設について」です。説明をお願いします。

○**児童青少年課長** それでは、資料第3号に基づきまして、民間学童クラブ（都型学童クラブ）の開設について、ご報告いたします。

開設事業者は、株式会社ベネッセスタイルケアです。所在地は音羽1-1-7。対象が小学1～6年生。定員が70人。開設が4月1日の予定です。ご報告は以上でございます。

○**南教育長** ただいまの件につきまして、ご質問等がございましたら、お願いいたします。

○**田嶋委員** これの費用等はどなたが負担するんですか。

○**児童青少年課長** こちらは民間の事業者が開設するものということですが、区から一定の補助をさせていただいて、民間事業者が開設をするというものでございます。

○**田嶋委員** 参加者は払うんでしょうか。

○**児童青少年課長** まだ想定ということではございますけれども、フル利用のお子様で1カ月当たり2万9000円で調整しているということは事業者のほうから聞き取りをしております。

○**小川委員** 文京区が支援する民間学童と、文京区が支援していない民間学童が多分あるんだと思いますが、その差というか、基準というのはどういったところにあるんでしょうか。

○**児童青少年課長** こちらの都型学童につきましては、放課後児童健全育成事業として、児童福祉法上の学童クラブの基準を満たすものということに加えて、さらに民間事業者が運営主体となること、あるいは午後7時以降まで開設すること、あるいは急な申し込みに対応できること、こういったことを条件として都型学童という都の要綱に基づいた制度内の学童クラブということになります。こういったところで区が助成をさせていただくこととなります。

あと、いわゆる民間学童というところがあります。こちらは児童福祉法の中ではなくて、法外の施設でございまして、学習塾であるとか、スポーツクラブの延長で放課後の学童の預かりをしている事業者がありますけれども、こちらについては法令には沿っていないということで区では補助をさせていただいていないという状況でございます。

○**南教育長** そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（4）平成28年度東京都「児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果について

○**南教育長** 次の報告事項に移らせていただきます。報告事項（4）「平成28年度東京都『児童・生徒体力・運動能力、生活習慣等調査』の結果について」です。説明をお願いいたします。

○**教育センター所長** 資料第4号に基づきまして、本年度に実施いたしました平成28年度東京都

「児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果の概要について、報告いたします。
まず、1ページをご覧ください。調査の実施時期は、28年4月から6月までになります。
実施規模は、小学校が20校8112人、中学校が10校2022人です。
なお、全国につきましては、まだ調査結果は出ておりませんので、28年度発表資料を述べさせていただきます。

表の見方は、2ページ、3ページが小学生、4ページ、5ページが中学生になります。2ページの表の見方につきましては、小学校の男女別、学年別になっております。文京区、東京都、全国と平均値が載っております。文京区が東京都よりも平均値が高い場合には○がついております。同じく全国より高い場合には○がついております。東京都、全国、両方とも高い場合には文京区のところには「高」となっております。東京都あるいは全国どちらかよりも高いときには「中」、両方とも低い場合には「×」、低ということになっております。

3ページの表の見方は、同じく男女別、学年別で26、27、28年度、同じ項目につきまして、それが前年度より上がっているか、下がっているかということになります。矢印が上のものについては上がっている。矢印が下のものについては下がっていることになります。2年連続、同じものも含めて上がっている場合には「良好」、2年連続、下がっている場合には「改善」が必要という表示になります。

4ページ、誤植がありますので、直していただけますでしょうか。中学校3年生の男子の50メートル走、文京区は7.5、東京都が7.6で、文京区は上回っていますので、○になります。○になりますので、こちらは「中」ではなくて、「高」になります。済みませんが、直していただけますでしょうか。

まず、小学校のほうから説明いたします。2ページ目をご覧ください。まず、東京都は、この表を見ますと、全国平均と比べて、全体的に体力・運動能力が低いと言えます。この傾向は文京区にも当てはまります。しかし、文京区につきましては、身長と50メートル走は、小学1年の女子を除いて、全国平均を上回っております。また、文京区は、これを見ますと、東京都の平均を上回っている項目が数多くあります。その傾向は、特に男子より女子に多く見られます。一方、劣っている項目といたしましては、男子では上体起こし、長座体前屈、立ち幅とびになります。女子では、握力の値が全学年的に低くなっている傾向があります。また、男子につきましては、高学年の5、6年で、総合得点が低い結果となっています。これが今後の課題だと考えております。

3ページ目をご覧ください。前年度、前々年度との比較になります。多くの項目において改善傾

向が見られ、これまでの成果が出ていると考えられます。特に、男女ともに、反復横とび、20メートルシャトルラン、50メートル走、さらに女子につきましては、上体起こしの項目について改善が見られます。走る能力や敏捷性が向上していると考えられます。一方、男女ともに立ち幅とびが低くて、改善の必要があると考えられます。こちらにつきましては、授業等の中で跳躍系の運動を取り入れる必要があると考えられます。

続きまして中学校です。4ページをご覧ください。こちらにつきましても、東京都は全国平均と比べ、全体的に体力・運動能力が低いと言えます。この傾向は文京区も同様です。また、文京区は、小学校と同様に、身長と50メートル走におきまして、全国値を上回っております。文京区を東京都と比べた場合、小学校では数多く上回っていましたが、中学生につきましては、東京都と比べて、体力・運動能力において劣っている項目が数多くあります。特に上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20メートルシャトルラン、立ち幅とび、ハンドボール投げなどが劣っている項目と言えます。

続きまして5ページをご覧ください。こちらは前年及び前々年度との比較です。全国や東京都と比べると、4ページでは劣っている項目が多かったのですが、年々改善傾向が見られます。特に女子の中学校3年生につきましては、多くの項目が良好となっております、改善傾向が見られます。中学校については、小学校に比べて全体的に体力が低いので、総合的に体力を向上させる取り組みが必要と考えております。

ここ数年の小学校及び中学校における改善傾向につきましては、現場の先生方が現状をよく理解して、改善に取り組まれている成果がある程度出ていると思われまます。こちらの結果につきましては、各学校に、児童・生徒1人1人の分析データが送られます。各学校においては、その分析データを活用して、児童・生徒の体力・運動能力の向上に役立つ計画を立てていただくようにと考えております。報告は以上になります。

○南教育長 ただいまの件につきまして、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

○田嶋委員 このデータだけ見て、簡単にパッと言えることではないのかもしれないんですけども、小学校ではよかったのに中学生が劣ってきているというのには、何か分析とかあるんでしょうか。中学校は中学校できっと分析されると思いますし、小学校は小学校でされると思いますが。

○教育センター所長 小学校と中学校の詳しい分析はちょっとないんですが、小学校も中学校も、運動神経のいい子はいろんな地域の団体とかに属してやっておりますし、運動の嫌いな子がおりまして、二極化の傾向もあると伺っています。中学校はいろいろと勉強等もありますし、中学校になると、ある程度運動の能力の差が出てくるので、嫌いな子は余計嫌いになる傾向とかもあるのでは

ないかと考えております。

○坪井委員 それぞれの上体起こしとか、反復横とびとか、そういう項目が一体何を目的として、その能力が高いことによって、子どもたちが生活していくのにどんな有効性があるか、そのあたり、私たちはわからないんですけれども。50メートル走だったら、走るのが速ければ、それはそれなりにいいんだろうと思います。それがいいことによって、子どもたちの健康状態がどんなにいいということになるのかというあたりの説明をいただけますか。

○教育センター所長 握力から20メートルシャトルランまでは一応体力ということになります。50メートル、立ち幅とび、ハンドボール投げについては、運動能力ということになります。体力が向上することによりまして、体幹が保たれり、日常の俊敏性とか、そういうところで優れていると言われております。右のほうは運動能力ですので、じかにスポーツにつながっているとは考えております。

○教育指導課長 細かいそれぞれの運動について狙いがあると思います。例えば、わかりやすいのは、長座体前屈は前に曲げる柔軟性といったあたりが主になると思います。反復横とびは一定の時間の敏捷性というところが狙いかと思います。それぞれ狙いがあると思いますが、そのあたりを含めて体力の部分と運動能力の部分と大きく分けて種目が設定されていると理解しております。

○田嶋委員 これがそれぞれ運動機能に結びつきがあることはきちっと載っているものがあるので、今度僕が持ってきます。子どものときはこんなのは当たり前のようにやると思いますが、僕らぐらいいになると、握力が弱くなったら間違いなく全体のパワーが落ちるとか、そういうことが明らかになる指標なので、それぞれにきちっとした意味があると思います。今度そういう資料があったら持ってきます。

○南教育長 そのほか、いかがでしょうか。

特になければ、以上で用意した案件は全てでございます。

第2 その他の事項

○南教育長 そのほか、何かありますでしょうか。

「閉 会」

○南教育長 第1回定例会はこれをもって終了させていただきます。

(14:23)

平成 29 年 1 月 12 日

議事録署名人

教育長

委員